

令和 5 年度学校評価結果報告書

桶川市立川田谷小学校
校 長 赤羽 広美

1 目指す学校像 きき合い つながり合い 学びを楽しむ 川田谷小

2 評価結果

領域	No.	評価項目	自己評価		学校関係者評価 または 学校運営協議会における評価
			評価	説明及び学校の考え	
組織・運営	1	学校は、学校教育目標の達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	A	・目指す学校像「きき合い つながり合い 学びを楽しむ 川田谷小」の更なる具現化に向け、教職員が「学びの共同体」に基づくグループ学習を主体とした指導方法を共通理解しながら取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標に向けて教職員一同努力されている。 ・教育相談研修などで職員全員の理解が図られている。 ・グループでの助け合い、教え合いの学習が身につけている。 ・どのクラスでも楽しい、分かる授業が展開されている。 ・150周年式典では先生方、子どもたち、保護者（実行委員）が一丸となって取り組んでいた。
	2	学校は、PDCAのサイクルのもと学級経営・教科経営・分掌経営にあたっている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に基づいた教育を確実に実施した。 ・児童や教職員が理解し、行動しやすい日課表に変更する等、教育活動の改善を図った。 	
	3	学校は、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応できる体制を整えている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導推進委員会の計画的な実施や教育相談研修会を通して職員全体が共通理解・共通行動し、迅速な初期対応をとることができた。 	
学習指導	4	学校は、基礎・基本の定着を図るため、児童の実態に基づいた授業改善を行っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びの共同体」に基づき全クラスでグループ学習を行い、児童相互の学び合いを主体としながら基礎・基本の定着を図るとともに応用的な問題である「ジャンプ問題」に取り組み活用力を指導した。 ・グループ学習を通して学力の基盤を形成する人間関係も育成し、児童相互が互いのよさを認め合う学級風土づくりに取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ指導・学習の成果を感じる事ができた。 ・どのクラスも子どもたちが生き生きと学習に取り組んでいた。 ・学校に行くと先生方が笑顔で挨拶してくれる。子どもたちもうれしいと思う。 ・グループ学習は成果を上げていることが感じられる。
	5	学校は、一人一人に応じた学習支援を行っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習とともに算数の少人数指導や、個別支援も併せて行い、児童一人一人に寄り添った指導を行った。 	
	6	学校は、言語環境の整備に努め、言語活動を充実させた授業展開に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習を通じた児童相互の学び合いで、主体的・対話的な学びを積極的に授業に取り入れ、言語活動の充実を図った。 	
生徒指導	7	学校は、児童が進んであいさつ、正しい言葉づかいができるように取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のあいさつ運動に年間を通して取り組んでいる。授業の開始、終了時の挨拶や教師の丁寧な言葉遣いは、全教職員が共通行動できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して朝の挨拶や言葉遣いについて全教職員が指導されている。 ・校長先生が校門に立って毎日笑顔で挨拶してくださるの
	8	学校は、児童に学習規律を身に	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律は、教職員間で共通理解 	

教育相談		付けさせ、学習成果を上げている。		しながら指導を行うことができた。	がうれしい。
	9	学校は、日常観察や教育相談を通じて、いじめや不登校の早期発見、解消に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止対策基本方針を改定し、それを全教職員共通理解のもと、迅速な組織的初期対応により、いじめや不登校の早期発見、解消に努めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶は明るく、いつでも先に続けてするものです。学校からそのことを発信していただけるとありがたい。 1日1回以上、全員の名前を呼んでほしい。話も聞いてあげられるとよい。
健康教育	10	学校は、児童の体力向上のため、体育授業や体育朝会、外遊びの奨励等に積極的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> 児童が主体的に取り組むマラソン練習や、体育授業の充実等により、体力の維持向上を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育授業を通し、体力向上が図れている。 運動会の時に見せていただいた準備運動が素晴らしかった。毎日実践していただければ、子どもたちの運動嫌いはゼロになると思う。 食品ロスを教室からゼロにしていきたい。「もったいない」を浸透させる。
	11	学校は、児童に食のバランスのとれた食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めさせている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 給食指導や生活科、家庭科等で食に関する指導を行い、一人一人の児童がバランスよく栄養を摂る大切さを理解させるため、食に関する指導を行っている。 給食メニューを、毎日ホームページに掲載し、食に関して保護者・地域への啓発を行った。 	
学習環境	12	学校は、計画的・継続的に掲示物を整え、児童の学習環境を整えている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 各月の生活目標を各教室や外に掲示して毎日児童に意識させ、教室の掲示物は、児童の学習に合わせて計画的に整えている。また、教室前面の掲示は最小限にし、児童が学習に集中できるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員が定期的に安全点検を実施している。 毎日の点検をペアで実施したり授業で気づいたときに担当の職員に伝えたりして複数の目で点検し、点検簿に記入する。危険と思われるものについてはすぐに修繕する。できないときは立入禁止の立て札、安全第一。 清掃については師弟同行する。「やってみせ、言って聞かせ、させてみて、ほめてやる」 トイレの清掃が大変だと思いますが、時にはアドバイスしてください。
	13	学校は、施設設備の点検を実施し、危険箇所の改修に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の安全点検や施設設備使用時の不具合等を迅速に改善するように努めている。 	
教職員の資質向上	14	学校は、積極的にサービスの厳正や情報管理などの事故防止に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 倫理確立委員会を職集時に行うとともに、新聞報道された教職員事故を中心に教職員に随時紹介し、教職員事故に対する当事者意識を高めることで事故防止に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員としての服務規律をしっかりと守り、職務に取り組まれている。 授業を見せていただき、どの学級でも楽しい、分かる授業が展開されていると感じた。教え合いのペア学習、学び合いのグループ学習の成果だと思う。何でも集中してやれば分かるようになる。大切なのは集中力・姿勢。
	15	学校は、校内研修等を充実させ、教職員一人一人の資質向上を図っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校課題研究「主体的に判断し、よりよい人間関係を築くことができる児童の育成—『学びの共同体』を要として—」では、グループ学習の指導方法を共通理解し、学力の育成とともに、よりよい人間関係作りに活かすことができた。 	

家庭・地域との連携	16	学校は、学校だより、学年だより、HP等で、保護者や地域に適切な情報発信をしている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、学校だより・学年だよりを発行し家庭・地域に情報発信した。 学校ホームページを毎日更新し、最新情報の発信に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報メールに効果があり、今後も続けてほしい。 学校だよりを毎月読ませていただいているが、第10号「でっかい夢を持つべきだ」には感動した。たくさんの川田谷在住の方々に目を通していただきたい。 150周年記念式典に出席して、実行委員の接遇に感謝したい。 PTA役員のなり手がいないことは今に始まったことではない。人任せでなく、本音で話し合う場をつくったらどうか。 学校だよりでは、校長先生の巻頭言を拝読させていただいています。
	17	学校は、学校応援団、ゲストティーチャー等、地域の教育力の活用に積極的である。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校応援団の皆様へ環境整備・登下校の見守りをしていただいた。 学校応援団（学習支援）や地域の皆様をゲストティーチャーとして和風作りや「昔のくらし」、「万作踊り」に取り組み、貴重な体験学習をしていただいた。 	
	18	学校は、PTA 活動や地域活動に協力している。	B	<ul style="list-style-type: none"> 開校150周年記念事業では、PTA役員や地域の皆様を主体とした実行委員会を組織し、学校と連携しながら児童・地域の方々の心に残る記念事業を行った。 PTA主催の資源回収への参加や学校運営協議会での協議等により、学校と家庭・地域が連携して児童の安全と健全育成を行っている。 	

*評価項目については各学校で領域ごとに項目を2～3設定する。